

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

「旅行産業」は、コロナのまん延によりリセットとビジネスモデルの再構築・再起動を余儀なくされた業種の一つであるが、世界的には今後も成長していく基幹産業である。観光・旅行をグローバルビジネスの側面から掘り下げて多角的にアプローチした結果、見えてくる近未来の旅行ビジネスとはどんなものだろうか。講師は旅行業界・航空業界で企画・商品造成・マーケティング・セールスと多彩な業務を経験した。その実務に照らして、従来のビジネスモデルと近未来の目指すべき方向性を織り交ぜて考える講義とする。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 評価方法・受講ルール、日本の旅行の歴史、観光業の裾野
第 2 回	宿泊産業の考察① ホテル開業ラッシュとライフスタイルホテルの登場
第 3 回	宿泊産業の考察② 好収益ビジネスモデル アパホテル・星野リゾート・リゾートトラスト
第 4 回	宿泊産業の考察③ 日本モデル・ビジネスホテルの現状と今後
第 5 回	旅行会社のビジネスモデルの変革① 大手旅行会社の歴史とこれから
第 6 回	旅行会社のビジネスモデルの変革① ベンチャーHIS・絶好調 OTA の歴史とこれから
第 7 回	テーマパーク産業の考察① TDR・USJ
第 8 回	テーマパーク産業の考察② サンリオピューロランド・ハウステンボス
第 9 回	航空業界の歴史と今後の対策① FSCとLCCの住み分け
第 10 回	航空業界の歴史と今後の対策② ダイナミック・プライシングとAIのインパクト
第 11 回	その他の輸送機関のこれから① 鉄道・バス・クルーズ
第 12 回	その他の輸送機関のこれから② タクシー・ドローン
第 13 回	観光行政と自然環境保護 本学だけがができる取組
第 14 回	インバウンド 2030年6千万人達成のために
第 15 回	まとめと振り返り、理解度チェック小テスト
第 16 回	試験もしくは最終レポート提出

到達目標

- ① 旅行ビジネスをコロナ前・アフターコロナに分けて、その変化とマーケット予測ができるようになる。
- ② 旅行会社・航空会社・宿泊・テーマパーク各業界の今後の戦略を明確に理解し説明できるようになる。
- ③ 自然環境保護と観光とのつながりの習得とそのためのアクションプランを理解し、就活にも役立てることができるようになる。

履修上の注意

- ・ 授業計画は変更になることがあります。
- ・ 講師の実務経験を反映して講義のテーマを設定し講義を展開する。さらに、授業では動画やウェブサイトを取り入れる。

予習・復習

予習：次回取り上げる課題を提出する。
 復習：授業の課題を復習として提出する。

評価方法

毎回の課題提出 30%	理解度テスト 30%	課題レポート 40%
-------------	------------	------------

テキスト

テキスト指定なし。
 PPT 資料を作成し、メモを取る形式の講義を行います。手元資料を配布することもあります。